

会 議 録

■会議名

令和7年度第1回 野辺地町総合教育会議

■日時

令和7年4月28日（金）14時30分～15時15分

■場所

野辺地町役場 町民ホール

■出席者

野村町長

教育委員会／小野教育長、野坂委員、杉山委員、亀田委員、須藤委員
（事務局）

学校教育課／飯田課長、濱田指導室長、山田課長補佐、駒井主幹、柴崎主幹
社・スポ課／玉山課長、米内山総括主幹
中央公民館／二木館長

■内容

【要旨】

1 町長挨拶

2 令和7年度教育委員会主要施策について

（1）学校教育課（説明者／飯田課長、柴崎主幹）

- ・統合小学校新築事業
- ・校務支援システム導入事業
- ・野辺地高等学校魅力化事業
- ・小・中学校情報教育推進事業
- ・学校給食費の無償化事業

（2）社会教育・スポーツ課（説明者／玉山課長）

- ・国民スポーツ大会関連費
- ・競技スポーツ強化支援事業
- ・まかどスポーツセンター事業

（3）中央公民館・図書館・歴史民俗資料館（説明者／二木館長）

中央公民館

- ・ホール舞台照明LED化工事設計業務
- ・駐車場区画線設置工事
- ・カーテン取替工事

図書館

- ・自動ドア改修工事
- ・デジタルカラー複合機賃貸借業務

歴史民俗資料館

- ・文化財調査、継承事業
- ・日本遺産3港連携事業

3 質疑応答

【質疑応答】

○亀田委員

統合小学校新築に木材を多く使用するように見受けられるが、木材自体がないと聞いている。木材の確保のため、事業費や進捗等への影響はないか。

- 事務局／木材の流通に関しての情報が入ってきていない。

○須藤委員

統合小学校の水飲み場のスタイルは。

- 事務局／現時点では一般的な蛇口としている。タッチレスの水栓もあるが、事業費を考慮しながら業者と話をしていきたい。基本的には一般的な蛇口を考えている。

○野村町長

事業費を心配しているかと思う。五十数億円の財源捻出について御理解をいただくことが必要である。簡単に説明してもらいたい。

- 事務局／総事業費は57億円程度。そのうち、工事費や設計業務費には文部科学省の国庫補助金が充てられる。補助率は5.5分の10。

その他の事業費には地方債として過疎債や原発債などを充てる。これらの地方債、借入金は、地方交付税により一定額が返ってくる。

よって、57億円のうち、町の実質的な持ち出しは16億円強となるが、これについては原子力立地給付金を活用させていただくこととしている。

○野村町長

57億円は、国からの補助金をいただくほか起債による借入金で賄うことになるが、借入金の償還に対して国からの交付金（交付税）が充てられる。残りの16億円に、町民の皆様からいただく原子力立地給付金を充てることにより、町の実質的な持ち出しはゼロとなる。町が新たな財源を持ち出す必要がないため、今までどおり事業を続けながら小学校を建設することができる。

○野坂委員

現校舎の解体費は。

- 事務局／57億円の中に解体費が含まれている。解体費については国庫補助が受けられる。

○野坂委員

機関車はどうするのか。

- 事務局／昨年度、JRとも協議した。機関車を他に転用することはかなり難しい。塗装するにも相当の事業費が掛かる。基本的には解体を考えている。一部を残すこともダメであり、壊すなら全て壊さなければならない。

三沢市で化粧直しをした際に数千万円掛かったとのこと。

【教育長から】

統合小学校新築の説明があったが、事業を行うには「お金」と「人」。補助金等をフルに活用しながら事業を進めていきたいと思っている。御理解と御協力をお願いする。

【町長から】

統合学校新築については令和10年度には供用開始をしたいと考えている。資材高騰により、むつ総合病院の新病棟建設が中止になった。資材高騰も心配されるが、設計業者からは、概ねこの金額でいけるだろうと言われている。

議員の中には、10年後にはクラスが半分になるのに建てるのかといった話もあるが、「今いる子どもたちのために」という思いがあるので、事業はしっかりと進めていく。

給食センターも老朽化して心配を掛けている。なんとか、だましだまし使っていきたい。

国を挙げてDXの時代となってきた。野辺地町でも今年度から、外部人材を活用しながら取組を進める。

委員の皆様には、折々に御意見を伺ってまいりたい。